

インフルエンザの感染が拡大中！

厚生労働省の統計によると、インフルエンザの感染状況については、令和5年第37週（2023年9月11日～9月17日）までの1週間あたりで1定点あたりの患者数が7.03となり、前週（第36週）の定点あたりの報告数4.48よりも増加しています。全国では沖縄県が最も多く（20.85）、次いで千葉県（14.54）、愛媛県（12.07）、佐賀県（11.95）の順で、39都道府県では前週の報告数よりも増加しています。また、全国の保育園、幼稚園、小中高校においても、休校（48施設）、学年閉鎖（256施設）、学級閉鎖（1321施設）と前週（第36週）と比較して2倍以上増加し、全国的にインフルエンザの感染が拡大しています。

インフルエンザ定点あたり報告数推移

区分	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週
	8/14-8/20	8/21-8/27	8/28-9/3	9/4-9/10	9/11-9/17
三重県	1.49	1.77	4.42	4.62	6.90
滋賀県	0.83	1.00	1.62	2.76	4.36
京都府	1.12	1.49	2.71	4.01	5.64
大阪府	1.10	1.54	2.44	3.90	4.54
兵庫県	1.00	1.56	2.23	3.83	6.39
奈良県	0.87	1.13	1.58	2.40	4.07
和歌山県	1.55	2.18	2.10	3.71	5.59
総数	1.01	1.40	2.56	4.48	7.03
去年同期(総数)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02

引用：厚生労働省 HP インフルエンザに関する報道発表資料 2023/2024 シーズン 2023年9月22日 インフルエンザの発生状況

インフルエンザ様疾患発生報告における施設数の推移

	報告週	報告期間	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	施設数合計
第1報	第36週	R5.9.4 ~ R5.9.10	10	156	627	793
第2報	第37週	R5.9.11 ~ R5.9.17	48	256	1,321	1,625
第3報	第38週	R5.9.18 ~ R5.9.24				
第4報	第39週	R5.9.25 ~ R5.10.1				

引用：厚生労働省 HP インフルエンザに関する報道発表資料 2023/2024 シーズン 2023年9月22日 インフルエンザの発生状況

インフルエンザ感染拡大に備えて、感染対策を行うとともにワクチン接種を行いましょう

全国的にインフルエンザの感染が少ないシーズンが続き、ワクチン接種の重要性は高まっています。ワクチン接種でインフルエンザの感染を完全に防ぐことができませんが、重症化を防ぐために有効です。基本的な感染対策（咳エチケット、手洗い等）と合わせて、インフルエンザのワクチン接種をお願いいたします。

予防接種法に基づく定期のインフルエンザ予防接種の対象

- 65歳以上の高齢者
- 60～64歳の心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方
- 60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可

引用 厚生労働省 HP インフルエンザ(総合ページ) 65歳以上皆様へ リーフレット

大阪健康安全基盤研究所 HP 一般の方へ インフルエンザが大阪で増加傾向。ご注意

OTG 健康保険組合
(文責) 常務理事 大西昭彦
(作成) 保健師 大谷